

# 試験研究成果普及情報

部門	林業	対象	普及
課題名：県民参加型の森づくりの試み - 目標林型設定と特用林産物の活用 -			
[要約] 森林の持つ公的役割の維持・増強と森林資源の循環的活用を目指す県民参加型の森づくりにおいて、その整備と活用目標を君津市清和の県有林で開催された県事業「千年の森づくりワークショップ」の活動から模索する。			
キーワード（専門区分）特用林産		（研究対象） 資源循環 - 資源循環	
		（フリーワード）県民参加、森づくり、目標林型、特用林産物、	
実施機関名 （主査） 森林研究センター 特用林産研究室			
（協力機関） 第54回全国植樹祭事務局			
（実施期間） 2002年度～2003年度			

## [目的及び背景]

本県においても放置された里山が多くみられ、森林の持つ公益的機能の衰えが懸念されています。そこで、県民の参加の森づくりの施策展開が始まろうとしています。

こうした森づくりでは「新しい里山づくり」が望まれており、たとえば森林の持つ公益的機能の増強と森林資源の活用を図り、加えて森づくり作業と森林レクリエーションなどにより参加者の生きがいや健康づくりも求められています。しかしながら、この森づくりでは技術的な主な問題だけでも、たとえば如何なる整備目標を持ち、森を如何に活用するかの方針やそれに基づく整備や活用方法など定まっていない状況です。

## [成果内容]

森づくり方針の多様な項目の中から主たるものとして目標林型の設定、特用林産物の活用を選び、活動で評価すると以下の成果が得られました。

1. 森づくり方針に植樹祭開催理念を基本にすると、目標林型は保護、復元、現状維持、改良(落葉樹巨木林、コナラ林、落葉樹景観林)林分に設定が可能である。
2. 特用林産物の活用では自生植物、とくに森づくりで半栽培化が可能なもの及び森づくりで発生する伐採木等に設定が可能である。
3. 資源循環型の森づくり作業では特用林産物の活用が作業量を制限する。このため現状の伐採木の活用ではきのこ原木栽培や炭焼きの実施が重要なものとなる。
4. 20～30人による森づくりの活動では、原木きのこ栽培の実施でコナラの20本程度の伐採木の活用から始まり、炭焼きの活用次第では最大100本程度まで可能とみられる。

## [留意事項]

森づくり方針によりその目標林型や特用林産物の活用が変化する。

## [普及対象地域]

全県下

## [行政上の措置]

公的技術協力（目標設定、択伐、きのこ栽培等）が必要である。

[ 成果の概要 ]

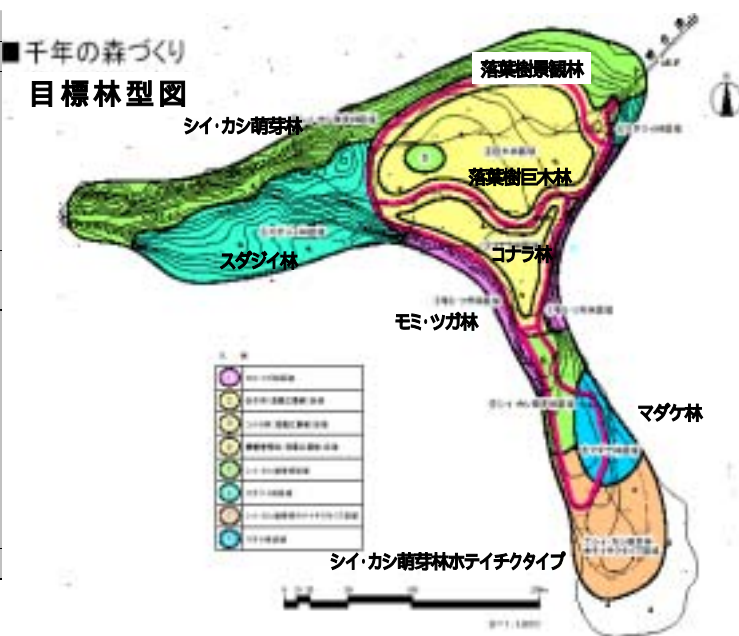
県有林の豊英島において、2001年から14回のワークショップ（公募参加者20～40名）が開かれ、県民参加型の森づくりのモデルが模索されました。そこで、モデル的な森づくり技術を提示しモデル的作業を行ったところ、参加者が立ち上げた会と県により今後の活動協定の内容として採用され評価されました。

評価を受けた森づくり技術はその方針を2003年の全国植樹祭の開催理念である「資源循環型社会の森林づくり」及び「参画社会のみどりづくり」を踏まえ、21世紀を契機とする超長期（千年）のものに置き、森を整備・活用する内容でした。主たる内容は、森づくりの目標と活用をその方針の基に森の生態や地域の役割を背景に設定したものです。

森づくりの目標となる目標林型は現存植生図、主要植物分布図などの現地の森の生態とその位置付けを踏まえた、貴重な植物や植生の保護や二次林の多様で活力のある維持や落葉広葉樹巨木林などを長期的に目指すものになりました。分布していたモミ・ツガの自然林が保護、シイ・カシ萌芽林の一部がシイの自然林に復元、貴重種が生育する同萌芽林の一部が現状維持、他のコナラの二次林などが改良に設定されました。改良はさらに公益的機能の高い落葉広葉樹の巨木林、活力のあるコナラ林や落葉広葉樹の景観林に細分されました（図-1）。

特用林産物の活用目標は対象樹木分布図、フロラ調査などにより現地の森に生育するハリギリなどの山菜やヤマボウシなどの果実の採取と、改良などの森づくりで発生する伐採木を用いたきのこ栽培や炭焼きになりました（表-1）。また、これら森づくり作業で資源循環型を目指しますと、林産物の活用が森の整備規模を制限させるため、これらが一体となって連携されるべきものと理解されました。

区分	種類	採取評価	活用影響	備考
山菜	ハリギリ	可	良化	高木10本
	ハナイカダ	可	-	散在
	ウコギ	可	-	散在
	キヨスミギボウシ	可	良化	散在
	ゼンマイ	可	-	谷筋
	その他3種	難	-	-
たけのこ	マダケ	優	-	分布0.2ha
	ホテイチク	優	-	分布0.5ha
果実	ヤマボウシ	可	良化	亜高木約230本
	クリ	可	良化	高木3本
	ウワミズザクラ	可	良化	亜高木20本
	ガマス	可	良化	散在
	サルナシ	可	-	散在
	その他9種	難	-	-
きのこ	野生きのこ	良	-	
	栽培きのこ	良	可	森づくりで発生原木
炭	炭	良	可	森づくりで発生原木



[ 発表及び関連文献 ]

・平成15年度試験研究成果発表会資料 ー新しい農林業技術ー 2003